

# 気づいたら、三河安城駅でゲームしてました。定刻通りに。

R4. 3時点

## 【事業の概要】

つかえるのにつかえてこなかったまちでも、つかえることによりやく気づいた32歳の春。対話を重ね、活動を重ね、仲間とともに「自慢のまちをつくる」動機付けができた33歳の春。

そして、34歳になった三河安城。人を育て、まちをつかい、まちを知って、より豊かな日常を生み出す設えをつくる。「まちをつかってつくる」取組を進めています。

**→ みる .meet**  
MIKAWA-ANJO

**定刻通り**  
Teikoku-dori Ave.

MACHI  
NAKA  
PLACE  
MAKING  
安城市都市計画課

## 【担当者インタビュー】

安城市都市計画課 前田晃佑さん



まちをつかいきっているビジョン



みんなでまちをつかう！の様子

みんなでまちをつかう！の様子



## Q. この取組におけるあなたの役割・担当は？

就労者と居住者をつなげるゲーマー（ただし観覧側）であり、活動者のデータや社会実験のデータベースを構築するプログラマーであり、活動者を相互につなげる行政職員です。

## Q. 一番苦労した点、一番やりがいや楽しさを感じた点を教えてください。

この取組では、アプローチ、活動目的、価値観が全く異なる人々の間を取り持つことが役割となるため、行政と民間、民間と民間、行政と行政の間にひたすら挟まれます（特にハード整備主導型の旧OS行政職員）。

しかし！！個々の活動から共同活動へ。共同活動から共益活動や機能実装へ、一つ一つ形になっていくこと、人々の気持ち一つになっていく実感はとにかくすごい！後にデザインを含めた機能実装に波及させる上で、こうして形成されるプラットフォームは、その推進を確実にする何よりの財産と確信しています。

## Q. あなたにとってウォークブルに取り組む「最初の一步」はなんでしたか？どうやってその一步を踏み出すことができましたか？

一個人として、ジブンゴトにしたことです。まちに関わっている人たちとのざっくばらんな対話から、実際に活動しなければ、まちもひとわからないと感じました。提案するだけでなく、実際にまちをつかうべし。故にゲームを始めてます。

## Q. 全国のウォークブル担当者へ一言！

まちをつかきましょう！